

報告の概要

1. 調査結果

深夜電力等を契約されているお客さま約19万1千件(契約を廃止されているお客さまを含む)のうち、過去の電気の使用状況から二重計量の可能性が否定できないお客さま約3万1千件を対象に現地調査を行いました。

その結果、29件の二重計量を確認しました。

2. お客さまへの対応

二重計量となっていたお客さまについては、個別に事情をご説明しお詫びするとともに、配線改修工事を実施しました。

また、誤って多くお支払いいただいた電気料金については、二重計量となった時期の協議を行い、精算金額を算定のうえ返金しています。

お客さま対応状況（平成20年1月17日現在）

二重計量	電気料金の精算	
	完了	対応中
29件	25件	4件

3. 二重計量の発生原因

発生原因について調査した結果、新增設時に電気工事会社が配線工事を誤ったものがあります。なお、当社の竣工検査においては、これまで本件のような配線工事誤りを想定しておらず、確認が不十分となり発見できなかったものです。

4. 再発防止対策

- ・ 電気工事会社に対して、計器・引込口配線の適正施工および自主点検の徹底について周知するとともに、1件のお客さまに複数の計器が施設される場合の工事図面記載方法および配線工事方法等について教育を実施します。
- ・ 竣工検査員に対して、電気工事会社からの工事図面と現地引込口配線の確認徹底について周知するとともに、1件のお客さまに複数の計器が施設される場合の計量方法および確認項目について再教育を実施します。
- ・ 使用電力量データの比較により、二重計量の可能性のあるお客さまを抽出し現地調査を行う等、定期的なチェック体制の導入を検討します。

5. その他

深夜電力等契約と同様に、融雪用電力契約の調査を進めています。

調査対象約4万1千件のうち、約5千件について調査を行った結果、6件の二重計量事象を確認しており、引き続き調査を取り進めます。

以上